SOUTHERN CALIFORNIA EDISON®
An EDISON INTERNATIONAL® Company

NEWS

メディア関係者用連絡先：モリーン・ブラウン（Maureen Brown） (626) 302-2255
広報担当：スコット・カニンガム（Scott Cunningham） (626) 302-2540

米国サザンカリフォルニアエジソン社、サンオノフレの蒸気発生器の欠陥について三菱重工を相手に仲裁申立て

アメリカ合衆国カリフォルニア州ローズミード　2013 年 10 月 17 日― 米国サザンカリフォルニアエジソン社（以下「SCE」）は水曜日、サンオノフレ原子力発電所において三菱重工が設計・製作した蒸気発生器の欠陥について、三菱重工と三菱ニュークリア・エナジー・システムズ（Mitsubishi Nuclear Energy Systems）に対する要求を主張すべく、国際商業会議所（以下「ICC」）に仲裁を申立てました。

拘束力のあるこの仲裁申立ては、取替用蒸気発生器の欠陥についての三菱の責任を問うもので、この欠陥によって発電所は永久廃炉となり、数十億ドルの損害が生じています。

「私たちは本日、三菱に欠陥のある蒸気発生器を納入した責任を果たさせるため、また、顧客の皆さまの立場から、その欠陥によって生じた一切の損害賠償を三菱に請求するために、この手段を講じることにした」と、SCE 社長のロン・リットジンガー（Ron Litzinger）は述べています。

SCE は、7 月に三菱に対して提出した紛争通知では解決に至らなかったため、仲裁を申立てました。この仲裁申立てには、三菱がその約束の不履行により、全く根本的な契約違反をしているとあります。そのなかで SCE はさらに、契約により義務付けられた審査に基づき、取替用蒸気発生器の計画と実行に関する設計その他の関連文書を提出するよう求めていたが、三菱がこれを受け入れなかったと主張しています。

ICC の仲裁人 3 名による委員会が、サンフランシスコで手続きを監督することになります。この契約はカリフォルニア州法により定められています。

米国原子力規制委員会（以下「NRC」）が 9 月に公表したところによれば、NRC は、欠陥があった蒸気発生器を設計する際に三菱が使用したコンピューターコードに不適合があったことを確認しています。また、NRC は三菱に対し、コンピューターコードの実行によって生じた設計の欠陥について「不適合通知」を出しています。NRC はさらに、三菱による設計の欠陥に関して SCE の主張を認めました。

SCE は 6 月 7 日付けの通知において、サンオノフレの 2 号機と 3 号機の運転を永久に停止し、原子力発電所を廃炉とする措置をとることを発表しています。

SCE は、サンオノフレの取替用蒸気発生器の欠陥に関する重要文書を、電子文書ライブラリーにて公開しています。しかし、三菱が重要文書の公開を拒否しているため、不完全なままとなっています。

SCE についての詳しい情報は Twitter および Facebook をご覧ください。

サザンカリフォルニアエジソン社について

エジソンインターナショナル社（NYSE:EIX）の傘下にあるサザンカリフォルニアエジソン社は、米国内最大規模の電力会社のひとつであり、カリフォルニア州の中部・沿岸部・南部の 5 万平方マイル（約 13 万平方キロメートル）に及ぶ地域の 490 万件の顧客先を通じて、およそ 1400 万人に電力を供給しています。

-###-